

# 鶴岡・田川 水稲直播情報

第 2 号

令和4年5月 20 日  
庄内総合支庁農業技術普及課  
(TEL 0235-64-2103)

※播種盛期以降、気温が高く経過し、イネだけでなく雑草の生育も早まっています。  
イネの生育を確認し、遅れずに水管理及び除草剤散布を行いましょう！  
※向こう 1 か月の気温は高い見込みです(仙台管区气象台 5 月 19 日発表)。  
水管理で土壌の異常還元(ワキ)を抑制し、初期生育の確保に努めましよう！

## 1 鉄コーティング湛水直播栽培の水管理と除草剤散布

- 播種同時または播種直後に初期除草剤を散布した場合、7日間止水した後、落水または間断灌水で出芽を促進させる(落水する場合は、圃場表面が乾かない程度で)。
- 出芽確認後は浅水管理を基本とし、稲の生育を確認後、雑草発生前に**初中期一発除草剤**を散布する。

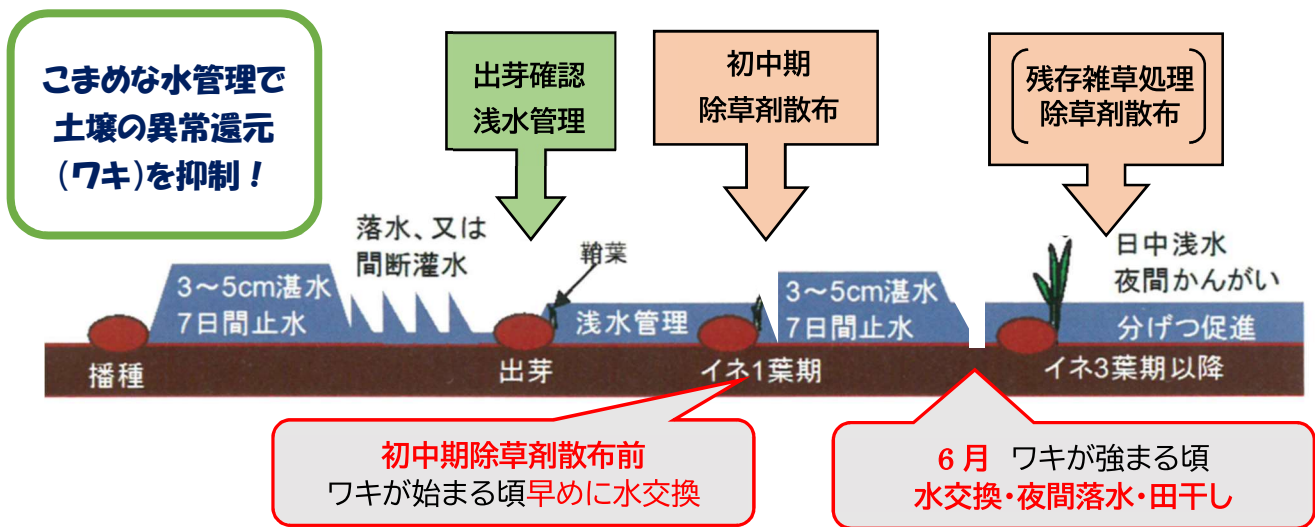


図 ワキ対策を兼ねた水管理のイメージ

- 初中期除草剤散布後7日間の止水期間終了後は、浅水管理を基本とする。  
ワキが強まる頃に、水交換・夜間落水・2~3日程度の田干しを行う(上図のイメージ)。

## 2 茎数が不足した場合の追肥対応

- 3葉期に茎数を確認し、目標下限に達していない場合は追肥を行う。  
追肥の目安と量: 3葉期 80本/m<sup>2</sup> 未満 ⇒ 窒素成分1.0kg/10a  
(目標茎数 80~120本/m<sup>2</sup> ⇒ 追肥なし)

STOP ! 農作業事故 < 春季農作業事故防止運動 4/10~6/10 >